

枚方市教育委員会主要事業の

令和5年度の進捗状況

(令和5年9月30日現在)

令和5年12月

枚方市教育委員会

枚方市教育振興基本計画に係る主要事業の一覧

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策1	①小中一貫教育推進事業	教職員課 教育指導課	
	②学校園活性化事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	③枚方市少人数学級充実事業	教職員課	
	④学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	教育研修課	
	⑤多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	児童生徒支援課	
	⑥英語教育推進事業	教職員課 教育指導課	
	⑦読書活動推進事業	教育指導課	
	⑧進路指導等事務	児童生徒支援課	
	⑨学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	教育指導課	
基本方策2	①人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	児童生徒支援課	
	②多文化共生教育研究事業【再掲】	児童生徒支援課	
	③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	児童生徒支援課	
	④小中一貫教育推進事業【再掲】	教職員課 教育指導課	
	⑤学校水泳授業民間活用事業	教育政策課 新しい学校推進室 教育指導課	
	⑥部活動指導協力者派遣事業	教育指導課	
	⑦学校支援社会人等指導者活用事業	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	⑧小学校給食事業	おいしい給食課	
	⑨学校給食における地元農産物利用促進事業	おいしい給食課	
	⑩食物アレルギー対応推進事業	おいしい給食課	
	⑪学校健康管理事業	学校支援課	
	⑫健康診断事業	学校支援課	
	⑬中学校給食充実事業	おいしい給食課	
	⑭文化財活用事業	文化財課	

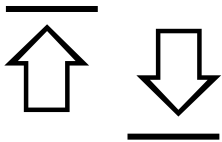
基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策2	⑮ 野外活動センター利用促進事業	スポーツ振興課	
	● 中学校給食における全員給食実施事業	おいしい給食課	新規
基本方策3	① 枚方市教職員育成事業	教育研修課	
	② 授業の達人養成・教科研究事業	教育研修課	
	③ 学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
基本方策4	① 支援教育推進事業	児童生徒支援課	
	② 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	児童生徒支援課	
	③ 枚方市教職員育成事業【再掲】	教育研修課	
	④ 就学前支援教育推進事業	公立保育幼稚園課	
基本方策5	① 幼児教育充実事業	公立保育幼稚園課	
	② 学校園活性化事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	③ 学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】	教育指導課 公立保育幼稚園課	
	④ 幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	公立保育幼稚園課	
基本方策6	① コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	
	② 教育委員会広報事務	教育政策課 教育研修課	
基本方策7	① 小学校安全監視事業	新しい学校推進室	指標設定せず、参考表示に変更
	② 通学路安全対策事業	新しい学校推進室	指標設定せず、参考表示に変更
	③ 小中学校安全対策事業	児童生徒支援課	指標設定せず、参考表示に変更
	④ 生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業)	教職員課 児童生徒支援課	
	⑤ いじめ問題対策事業	児童生徒支援課	
	⑥ スクールアドバイザー派遣事業	児童生徒支援課	
	⑦ 教育相談事業	児童生徒支援課	
	⑧ 「心の教室相談員」配置事業	児童生徒支援課	
	⑨ 福祉・教育ソーシャルワーク事業	子ども相談課	
	⑩ 不登校児童・生徒支援事業	児童生徒支援課	

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策8	①学校整備・保全事業	施設計画課 建築課 設備課 施設管理課	
	②学校空調設備整備・維持管理事業	施設計画課 設備課	
	③学校規模等適正化事業	新しい学校推進室	
	④学校ICT機器等整備業務【再掲】	教育研修課	
	⑤校務の情報化推進事業	教育研修課	
	⑥小学校給食事業【再掲】	おいしい給食課	
	⑦樟葉西小学校給食調理場改修事業	おいしい給食課	
基本方策9	①社会教育活動推進事業	教育政策課	
	②生涯学習事業	文化生涯学習課	
	③図書館資料購入事務	中央図書館	
	④分館・分室巡回業務	中央図書館	
	⑤中央図書館運営事業	中央図書館	
	⑥図書館分館運営事業	中央図書館	
	⑦コンピュータシステム運営事業	中央図書館	
	⑧障害者利用促進事業	中央図書館	
	⑨電子図書館運営事業	中央図書館	
	⑩学校図書館支援事業	中央図書館	
	⑪読書活動推進事業【再掲】	教育指導課	
基本方策10	①文化財活用事業【再掲】	文化財課	
	②野外活動センター利用促進事業【再掲】	スポーツ振興課	
	③文化芸術創造拠点形成事業	文化生涯学習課	
	④文化財保護管理事業	文化財課	
	⑤市指定文化財補助事業	文化財課	
	⑥特別史跡百済寺跡再整備事業	文化財課	

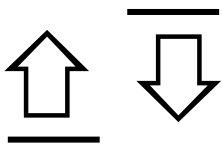
基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策10	⑦市史編さん年報発行事務	文化財課	
	⑧各種スポーツ大会等開催事業	スポーツ振興課	
	⑨スポーツ推進事業	スポーツ振興課	
	⑩総合型放課後事業	放課後子ども課	「留守家庭児童会室運営事業」を統合
	⑪枚方子どもいきいき広場補助事業	放課後子ども課	

※表中の凡例

●「指標」の「(目指すべき方向)」の表記について



…実績値が、目標値へ到達することを目指しています。



…実績値が、目標値を上(下)回ることを目指しています。

●「令和5年度の取り組み実績」の表記について

- ・文頭に◆：事業の取り組み実績
- ・文頭に◇：事業の課題事項

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。


また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続^①を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります^②。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します^③。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します^④。


諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します^⑥。また、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します^⑧。


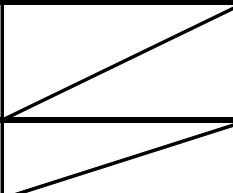
さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます^{①⑨}。

主要事業の状況


1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 39,644 決算額
事業概要(令和5年度の取り組み内容)					
<p>各中学校区において、小学校から中学校への円滑な接続や、シームレスな学びの推進等に向けて、校区の現状と課題を把握し、小・中学校が連携して以下の取り組みを実施している。</p> <p>○学力向上の取り組み 全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。 教科会・学年会における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取り組み 各小中学校で、今まで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進する。</p>					
指標		R3年度	R4年度	R5年度	
<p>(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (参考指標1) ※(参1)と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査において全国平均を上回る種目数</p>		<p>実績値 [A] (%)</p>	<p>[小学校] 国語：63.00 算数：70.00 [中学校] 国語：63.00 数学：56.00 (参1) 2種目</p>	<p>[小学校] 国語：66.00 算数：64.00 [中学校] 国語：69.00 数学：51.00 (参1) 2種目</p>	<p>【小学校】 国語：67.00 算数：63.00 [中学校] 国語：71.00 数学：53.00 (参1) (R5.12月把握予定)</p>
<p>(目標値の根拠) 小学校：国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校：国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上 (参考指標1) 前年度実績以上</p>		<p>目標値 [B] (%)</p>	<p>[小学校] 国語：64.70 算数：70.90 [中学校] 国語：64.60 数学：57.77 (参1) 2種目</p>	<p>[小学校] 国語：65.60 算数：63.83 [中学校] 国語：69.00 数学：51.91 (参1) 2種目</p>	<p>[小学校] 国語：67.20 算数：63.13 [中学校] 国語：69.80 数学：51.51 (参1) (R5.12月把握予定)</p>
<p>(目指すべき方向)</p> <p style="text-align: center;"></p>		<p>達成度 [C] (%)</p> <p>※[△]ならC=A÷B ※[◇]ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</p>	<p>[小学校] 国語：97.37 算数：98.73 [中学校] 国語：97.52 数学：96.94 (参1) 100.00</p>	<p>[小学校] 国語：100.61 算数：100.27 [中学校] 国語：100.00 数学：98.25 (参1) 100.00</p>	<p>[小学校] 国語：99.70 算数：99.79 [中学校] 国語：101.72 数学：102.89 (参1) (R5.12月把握予定)</p>
令和5年度の取り組み実績 (◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)					
<p>○学力向上の取り組み ◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進している。 ◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図っている。</p> <p>○体力向上の取り組み ◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践している。また大阪体育大学と連携した研究指定校において、体力向上に向けた取り組みを実践し、3学期に、1年間の取り組みを公開授業として発表を行う予定である。</p>					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移
	関連計画	-			

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。


1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	788,044	
					決算額		
事業概要(令和5年度の取り組み内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。 授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。 一人一台タブレット端末の導入に伴い、活用充実にに向けたソフト面の整備及び評価を行う。 一人一台タブレット端末の更新に向けて、外部の専門家を「ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナー」として委嘱し、さらに専門の委員会を立ち上げ具体的な検討を開始する。 							
指標		R3年度	R4年度	R5年度			
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査学校質問紙における「自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用していますか」に対して肯定的な回答(ほぼ毎日、週3回以上)をした割合※【】内は全国平均		実績値[A] (%)	-	小学校 54.60 【21.1】 中学校 26.40 【15.6】	小学校 61.40 【45.0】 中学校 73.40 【35.7】		
(目標値の根拠) 全国平均より10.0ポイント増		目標値[B] (%)	-	小学校 31.10 中学校 25.60	小学校 55.00 中学校 45.70		
(目指すべき方向) 		達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [◇] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	-	小学校 175.56 中学校 103.12	小学校 111.63 中学校 160.61		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)							
<p>◆令和7年度からの児童及び生徒に貸与している学習用端末の更新、その他学校教育における情報化の推進のために設置した意見聴取会(以下、ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会)の第1回会議を令和5年10月11日に開催した。今後も月1回開催し、情報通信技術及び情報教育の関係者の意見を聴取し、令和7年度の端末更新を適切に行う。</p> <p>◆情報活用能力に位置づけられている「タイピングスキル」の向上をめざして、探究的な学び支援補助金を活用して、タイピングシステムを実証的に導入した。本システムを活用することにより、取組回数やスキルの向上結果が自動でグラフ化され、児童生徒が自身の結果をメタ認知し、更なるスキル向上につなげることができる。</p> <p>◆各学校が授業での利用を希望するアプリケーション(無償のみ)を申請する取組みを継続していることで、一人一台端末に導入しているアプリケーション数の合計が100を超えた。</p> <p>◇国及び市独自の調査結果の整理及び評価。</p> <p>◇小中学校に配備している授業用コンピュータの整理。</p>							
これまでの点検評価員等からの主な意見							
<p>・今後とも、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、学校ICT機器等の活用の充実に取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議)</p>							
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度		
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明					
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移		
	関連計画	枚方版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省					

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	教職員課 教育指導課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	199,862
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・全中学校に外国人英語教育指導助手(NET)、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)または英語専科教員を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を配置するとともに、小学校で指導する外国人英語教育指導助手(NET-E)を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>・英語の4技能(「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」)をバランスよく育成するため、全市立中学校第2・第3学年の全生徒を対象に4技能の到達度を測ることができる学習アプリを活用し、生徒の英語力向上を図る。</p> <p>関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p> <p>・ICT機器を活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を実施する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合		実績値[A] (%) 小:88.09 中:84.05	小:87.83 中:80.86	年度末にアンケート実施予定		
(目標値の根拠) 児童(小)の満足度90%以上 生徒(中)の満足度85%以上		目標値[B] (%) 小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00		
(目指すべき方向) 		達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小:97.88 中:98.88	小:97.59 中:95.13	年度末にアンケート実施予定	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆中学校NETを18名、臨時NETを1名配置、小学校にNET-Eを1名配置しており、NET-E2名が欠員。また、小学校にJTEを23名、臨時JTE1名配置しており、JTE5名が欠員。</p> <p>◆学習アプリの活用が進んでいる。夏休み終了までに、全中学校の第2・第3学年において、自分の到達度を測定することができる、レベルチェックテストをほぼ全員が受験済み。</p> <p>◆枚方英語村は、関西外国語大学と連携し、3学期開催に向けて準備を進めている。</p> <p>◆一人一台タブレットを活用して、本市小学校と海外の小学校とオンラインでの交流を複数回実施した。今後も実施を予定。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・学年があがるごとに、授業が楽しいと答えた児童数が減少している実態を詳しく分析していただき、特に小学校で英語を苦手とする児童をつくらないう、今後も取組みを進めていただきたい。(R5点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 7,975 決算額
事業概要(令和5年度の取り組み内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。 市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。 					
指標		R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合	実績値 [A] (%)	小: 55.60 中: 41.20	小: 54.90 中: 43.60	小: 52.20 中: 43.00	
(目標値の根拠) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する全国の割合	目標値 [B] (%)	小: 61.20 中: 50.10	小: 59.60 中: 48.60	小: 60.00 中: 49.40	
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小: 90.84 中: 82.24	小: 92.11 中: 89.71	小: 87.00 中: 87.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)					
<p>◆学校司書配置小学校20校による、「学校図書館を活用した取組報告書」をポータルサイト「まなVIVA!ひらかた」に掲載し、司書教諭・学校司書研修にて周知するとともに、全小中学校の取組を共有することで、読書活動の取組推進を図った。</p> <p>◇各校で読書活動の取組推進を図っており、活動報告としての実績はあるものの、全国学調やアンケートでの数値としては表れにくい。</p>					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度については、事業指標の結果から、特に小学生の読書習慣に課題が生じているため、対策を講じていただきたい。(R4点検評価員会議) 					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28・29・30年度・令和3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移
	関連計画	-			

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

1-⑨	学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	担当課	教育指導課	事業費(千円) ※人件費を除く	予算額	53,805
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる民間の学習コンテンツを利用できるように環境を整備し、学力向上の取り組みを推進する。また、放課後自習教室の開室方法を見直し、中学生対象に民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、生徒の学習支援を行う。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 放課後自習教室の実施回数(夏季集中学習教室を除く。) (参考指標1)※(参1)と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2)※(参2)と表記 実人数(登録者数)		実績値[A] (回) 1,593 (参1) 37% (参2) 2,077人	1,593 (参1) 48% (参2) 1,754人	200 (参1) 2月にアンケート実施予定 (参2) 449人		
(目標値の根拠) 【R3年度】年間24日(小45校) 27日(中19校)開室 【R4年度】年間24日(小44校) 27日(中19校)開室 【R5年度】年間27日(中19校)開室 (参考指標1)前年度実績以上 (参考指標2)前年度実績以上		目標値[B] (回) 1,593 (参1) - (参2) 1,559人	1,593 (参1) 37% (参2) 2,077人	513 (参1) 46% (参2) 240人		
(目指すべき方向) 		達成度[C] (%) 100.00 (参1) - (参2) 127.39 ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00 (参1) 129.73 (参2) 84.45	38.98 (参1) - (参2) 187.08%		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図った。 ◆8月には今年度から対象を中学3年生から中学生全学年に拡充した夏季集中学習教室を開催し、参加生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。 ◆小学校における放課後自習教室は、令和5年度から実施の総合型放課後事業「放課後オープンスクエア」において児童個人の自主性にゆだねた学びの場を提供するものとした。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成28年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

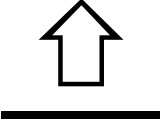
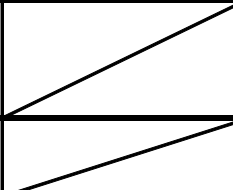
自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います^①。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。


外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます^{②③}。


小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます^{④⑤⑥⑦}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^{⑧⑨}や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し^⑩、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{④⑪⑫}。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます^⑬。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑭や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します^⑮。

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	教育政策課 新しい学校推進室 教育指導課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	44,135
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校における水泳授業について、民間施設や民間の専門スタッフを活用した取り組みを進めることで、児童の泳力向上を図る。併せて、水泳授業に関連する業務の改善や、学校プール施設の老朽化に伴う維持管理、改修・改築費用の縮減などにつなげる。 ・事業の効果検証を行いながら、民間施設の活用の拡充、公設民営施設の新設、屋外プールの改修等、今後の学校プールのあり方について検討する。 ・令和5年度は、令和4年度に水泳授業を委託した6小学校に加え、新たに5小学校の水泳授業を委託する。また、各民間施設の受入意向や受入許容人数を正確に見極めた上で、民間活用のスケジュールや実施手法等を示す推進計画の作成に取り組む。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数	実績値 [A] (校)	0	6	11		
(目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。	目標値 [B] (校)	1	6	11		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	0.00	100.00	100.00		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆小学校における水泳授業の民間活力の活用について、令和4年度の実施校(山田、殿二、田口山、樟葉西、蹉跎、氷室)に加え、新たに5校(殿一、枚二、樟葉南、樟葉北、開成)の学校で事業を実施した。</p> <p>◆学校規模、実施手法(民間施設利用orスタッフ派遣)、施設への移動方法(徒歩orバス)、授業の時期(1学期or2学期)について異なるケースを組合せ、それぞれの課題と効果を検証している。</p> <p>◇今後の民間施設利用の計画的な拡充とあわせ、新たな受け入れ枠の確保についてや、セーフティーネットの視点なども踏まえた今後の考え方について、今年度内を目途に整理していく予定。</p> <p>◇既存の民間施設のみでは受け入れ枠に限りがあり、実施校数拡大のためには新たな施設の確保策の検討が必要である。</p> <p>◇現状、施設利用の全校での実施は現実的ではなく、例えば地理的に施設利用が困難な学校などについて、スタッフ派遣を視野に計画的にプール改修を行うことも検討が必要である。</p> <p>◇施設利用校の学校プール施設の取り扱いも含めた跡地活用や、民間施設の事情により授業ができない場合のセーフティネットの考え方などの整理が必要である。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	教育指導課	事業費（千円）	予算額	16,919
				※人件費を含む	決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） 中学校部活動指導協力者の派遣回数 （指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす）		実績値 [A] (回)	4,468	4,852	2,828	
（目標値の根拠） 派遣回数の上限 ※R2年度より、過去の派遣回数を踏まえ目標値を変更		目標値 [B] (回)	5,320	5,320	6,650	
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) <small>※[△]なら C=A÷B</small> <small>※[▽]なら C=(B+(B-A))÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small>	83.98	91.20	42.53	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆4月～9月の半年間で、延べ124名の部活動指導協力者の登録があり、市内19中学校のすべての学校で活用がある。 ◇部活動指導協力者に対するハラスメント等に関する研修の実施時期及び手法等の検討。 ◇中学校部活動地域移行に係る制度構築における部活動指導協力者の取扱いの検討。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・教員と同様に、部活動指導協力者に対しても、体罰防止等の研修の実施を検討すべきである。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	教育指導課 公立保育幼稚園課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	3,890
					決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 [A] (回)	1,431	1,654.5	604.5	
（目標値の根拠） 活用回数の上限（1校園あたり約22回）		目標値 [B] (回)	1,761	1,830	1,520	
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入)	81.26	90.41	39.77	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆小・中学校において、各教科における学習支援（総合的な学習の時間や外国語等）や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図った。 ◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者により、お話会やわらべ歌遊びの会などを実施した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・指導者確保の工夫として、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域にあった募集方法を検討していただきたい。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-				
	関連計画	-			R4からR5の達成度の推移	

2-13	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	356,916
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ・学校給食の牛乳パックについては、関係部署及び民間事業者と連携し、リサイクルに取り組んでいる。 						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 中学校給食の喫食率		実績値 [A] (%)	35.10	35.20	37.40	
(目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 [B] (%)	50.00	50.00	50.00	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [□] なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	70.20	70.40	74.80	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆喫食率については、令和5年度に入り上昇を続けており、9月末時点で37.4%となっている。また、全員給食に向けた中学校給食の取組みについては、令和4年12月に策定した「今後の中学校給食に関する方針」における整備手法等が有効であるかを検証するための可能性調査委託を実施した。今後は、可能性調査委託の報告書の内容を踏まえ、庁内委員会にて整備手法やスケジュール等を決定し、取組みを進めていく。牛乳パックのリサイクルについては、児童生徒に配付する献立表に、リサイクルの工程等を紹介するコラムを掲載することで、子どもたちのみならず家庭への環境意識の啓発にもつなげる取組みを実施している。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し^①、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること^②で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^{①③}とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修^①のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 7,464	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」ことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「『Hirakata授業スタンダード』の定着と中学校各教科研究への継続的な支援の充実」「人権尊重に基づいた子ども理解と認め合い高めあう集団づくりへの支援の充実」「GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用した授業改善、5Cの力を育む学びの実現」の4点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー(学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等)が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「GIGAフェス」を実施。各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームを中心に、ICT機器の効果的な活用をめざした取り組みを実施。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合	実績値 [A] (%)	96.70	95.00	95.80		
(目標値の根拠) 研修の実質的効果	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	96.70	95.00	95.80		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和5年度は、令和4年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」を目標に、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②Hirakata授業スタンダード・授業計画時に大切にしたい5つのCの視点に基づいた授業改善、③人権尊重に基づいた子ども理解と、認め合い高め合う集団づくりへの支援の充実、④研修履歴を活用し対話に基づく教職員研修の受講奨励の4つを重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修をはじめとする教員の経験・職務に応じた研修(基本研修)、教育課題や教科等の専門性を高める研修(専門研修)、専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得と情報活用能力の向上を図る研修(職務研修)を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。また、校内研修支援として、研究プランの提案や講師紹介、年間を通して校内研修に指導主事や教育推進プランナー等が継続的に関わっている。</p> <p>◆全体を通じて、学び続ける教職員のさらなる育成のため、希望研修を充実させ、教職員が一人ひとりの課題や職務に応じた研修を自ら主体的に受講でき、管理職による研修受講奨励が推進する仕組みを構築した。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画					

3-②	授業の達人養成・教科研究 事業	担当課	教育研修課	事業費（千円）	予算額	350
				※人件費は除く	決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。2年間の講座受講後、授業マイスターの認定試験を行う。授業マイスターは、示範授業、実践発表を一定の回数行い、その後、指導教諭の資格を有する者が授業の達人の認定試験を受けることができる。</p> <p>●授業の達人養成講座（※段階的に「達人」に認定するシステムを構築する）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。 教材研究、学習指導案の検討を行い、年2回の研究授業（公開授業）を実施。 先進地域、先進校への視察を実施。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度		実績値 [A] (%)	98.90	98.76	99.31	
（目標値の根拠） 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	98.90	98.76	99.31	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業マイスター」「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>◆令和5年度は、2年継続研修の2年目として、『授業の達人養成講座』を予定通り年間12回実施中である。さらに、授業の達人の認証について、今後、計画的に実施できるよう、ロードマップを作成し、年度始めに学校へ通知した。</p> <p>◇「個別最適な学び・協働的な学び」の実現に向けて、受講者が授業で実践し、校内のモデルとなることができる内容での研修を意識的に実施している。</p> <p>◇授業マイスターの認定については、一定の方向性を示し認定者がでていますが、授業の達人の認定について再検討している。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・その効果を直接的な数値として見ることは困難である。しかし、児童生徒・保護者を対象とした授業アンケートでは、教員と児童生徒との良好な関係や、教員の頑張りや指導力についての評価が高まってきたそうである。この傾向については、間接的ではあるが事業の成果が表れたものと見なすことができるのではないかと考える。今後とも、児童生徒、保護者に信頼される教員の育成に取り組んでいただきたい。（令和4年度）</p> <p>・「授業の達人養成講座」の受講者の理解度・満足度がともに100%であることは評価できる。今後は、受講者の研修内容の伝達度に着目した指標を設定することについて、検討をお願いしたい。（R5点検評価員会議）</p>						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^①とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^①。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます^①。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②④}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます^③。


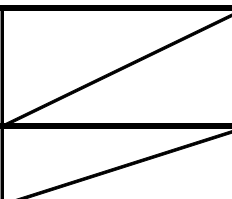
さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う^{①②④}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②④}。

4-①	支援教育推進事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額 決算額	305,631
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ・児童生徒支援課職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ・小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。 ・肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、学習等の介助を行う。 ・特別支援教育支援員を配置し、通級指導教室を新設した小中学校の支援を要する児童・生徒の生活、学習等の補助を行う。 ・肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ・肢体不自由児童・生徒及び支援学級担任に対して理学療法士による専門的な日常訓練の指導・助言を行う。 ・支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 ・児童・生徒一人ひとりに個別最適な指導を行うために、効果的なアセスメントを実施し、適切な教材を選択できる教育支援ソフトを全小中学校に導入する。 ・令和5年度及び令和6年度にかけて枚方市支援教育充実審議会を開催し、学識経験者や教職員、市民からなる審議会委員に支援教育の充実に向けて審議して頂く。その審議内容や中間答申を踏まえて次年度の取り組み等を決定していく。 ・小学校9校、中学校全校へ新たに自校式通級指導教室を設置する。今後の通級指導教室の拡充に向けて、新設の自校式通級指導教室モデル校と共に啓発や取り組みを周知する。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数	実績値 [A] (回)	117	117	47		
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。	目標値 [B] (回)	104	118	120		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	112.50	99.15	39.16		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、五常小、西牧野小、渚西中、桜丘中に専門家を派遣し、指導・助言している。また、児童生徒支援課職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施している。 ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、44小学校、19中学校すべてに非常勤講師を加配している。 ◆肢体不自由児介助員を25人(通年・短期)配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行っている。また、肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施している。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行っている。 ◆学校看護師を32人(通年・短期)配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援している。 ◆特別支援教育支援員を31人(通年・短期〔支援教育補助員〕)配置し、発達に課題のある児童・生徒の学習の補助や学校生活における介助を行っている。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級・通級指導教室の設備整備を行っている。 ◆枚方市支援教育充実審議会を2回開催し、本市の支援教育の充実について、諮問し、審議を行っている。 ◇支援を必要としている児童・生徒に見合う人員(学校看護師、肢体不自由児介助員、特別支援教育支援員)の確保が課題である。特に医療的ケアに従事する学校看護師の人員不足が顕著である。 ◇支援を必要としている児童・生徒が年々増加しているため、消耗品費、庁用器具費の確保が必要である。 ◇車椅子など移動に介助が必要な児童・生徒が在籍する学校には階段昇降車を設置しているが、学校施設のエレベーター整備等に関する方針等に基づき、引き続き学校設備の充実に向け取り組んでいく必要がある。 						

これまでの点検評価員等からの主な意見

・他市のモデル事業となるよう、今後も引き続き、一人のひとりの教育的ニーズを大切にした「ともに学び、ともに育つ教育」の実現に向け、取組みを進めていただきたい。（R5点検評価員会議）

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針		
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）	R4からR5の 達成度の推移	
	関連計画	-		

4-④	就学前支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	5,331
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。</p> <p>就学前の幼児を対象とした言語訓練指導(幼児ことばの教室)を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。</p> <p>・幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員(旧:支援教育担当)及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する各支援事業の実施率	実績値[A] (%)	100.00	100.00	100.00		
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%	目標値[B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(目指すべき方向) 	達成度[C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [◇] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語面に課題がある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。</p> <p>◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数:179回</p> <p>◆幼児ことばの教室の実施回数:111回</p> <p>◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする幼児に対して日常生活を支援するための看護師を配置した。</p> <p>◆支援教育担当の配置状況:31名 生活支援員の配置状況:8名 医療的ケア看護師の配置状況:2名</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<p>・専門員の巡回等による幼児や保護者に対する相談支援が重要であり、家庭に寄り添った支援を進めていただきたい。(R4点検評価員会議)</p>						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策5 幼児教育の充実


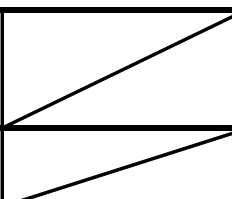
少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります^①。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②③}。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します^{①②}。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます^④。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します^④。

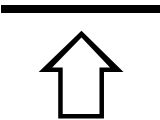
主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	588
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公立保育所(園)等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。また、令和4年度に国の採択を受けた「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取り組みとして、市がコーディネーターの役割を担いながら、地域就学前児童施設や小学校との関係の構築を図る。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動(学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など)を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 [A] (園)	7	12	9	
(目標値の根拠) すべての市立幼稚園において①及び②を達成する(すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2=12となる)		目標値 [B] (園)	12	12	12	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [◇] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	58.33	100.00	75.00	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩及び小学校の教員による授業体験など、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら実施した。また、併せて幼小連携推進に関して、架け橋期における幼児期や児童期の育ちについて幼小教職員で合同研修を行ったり、互いの保育・授業を視察できる場を設けるなど、教育内容の相互理解を図った。 ◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について周知する機会を設けた。また、子育てに不安がある保護者からの育児相談に対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら個別に対応した。 ◆「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取組みとして、架け橋プログラムに関する全体会を開催し、私立の就学前施設56か所に参加いただいた。また、全体会後に、連携体制を構築していくための会議を校区ごとに開催し、公私の連携を図った。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・小学校への円滑な接続が重要であり、引き続き、授業見学や教員同士の連携の充実を図り、幼稚園児が進学後も安心して小学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。(R4点検評価員会議) ・小学校や保育園との連携が進んだ点は評価できる。今後とも、私立の就学前施設との連携を図りながら着実に事業を進めていただきたい。(R5点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	担当課	公立保育幼稚園課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額	52,950
					決算額	

事業概要(令和5年度の取り組み内容)

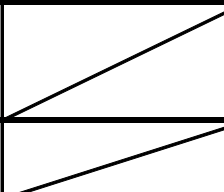
幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。

指標		R3年度	R4年度	R5年度
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率	実績値 [A] (%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	100.00

令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)

◆預かり保育及び幼児教育教室については、新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら実施している。
◆就労支援の一環として、枚方幼稚園、田口山幼稚園、さだ幼稚園、高陵幼稚園の枚方版子ども園4園において幼稚園給食を実施した。また、令和5年10月からの樟葉幼稚園、香里幼稚園での幼稚園給食の提供開始に向け、配膳室整備などを行った。

これまでの点検評価員等からの主な意見

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	達成度	
	市長公約	-		
	実行計画	-	R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画		

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進


近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます^{①②}。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	教育指導課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	3,080
					決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを全小学校にしている。また、定期的に研修会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取り組み等の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 [A] (%)	96.00	100.00	年度末実施予定	
（目標値の根拠） 肯定的回答の割合100%		目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00	
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	96.00	100.00	年度末実施予定	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
◆全44小学校において、年間3回以上の学校運営協議会を行う計画が立てられ、地域全体で協働して学校運営に取り組むことができてきている。教員のコミュニティスクール担当者も全校に配置し、学校の課題を地域と共有している。このコミュニティスクール担当者対象の研修も継続して行っている。地域の方々に学校を支援していただく好事例がいくつかの小学校から上がってきている。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・コミュニティ・スクールについては、地域全体で協働して学校運営に取り組む体制が構築されていることが伺える。今後、子どもたちの学びを更に豊かにするために、コミュニティ・スクールなどによる「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。全国的にもコミュニティ・スクールに関する取組みが推進されている中で、今後も、好事例校に着目したデータ分析も行いながら、地域の方々の力を活用した教育の充実を図っていただきたい。（R4点検評価員会議） ・今後は、学校や子どもたちへの支援にフォーカスをあてた取組みの充実を期待している。あわせて、新たな指標の検討もお願いしたい。（R5点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります^②。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^③とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子どもも自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^③。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います^{④⑤⑥⑦⑧⑨}。いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します^{⑤⑨}。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます^{⑦⑧⑨⑩}。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます^{⑦⑩}。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

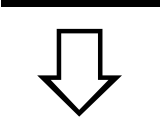
子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます^{⑦⑨}。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます^⑤

^{⑨⑩}。


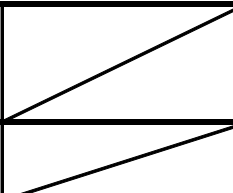
主要事業の状況

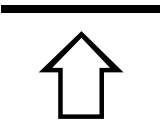
7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進室	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額	34,393
					決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> 全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し、安全監視を実施する。 来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 						
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等機器などの修繕を、学校からの要望に応える形でおこなっている。</p> <p>◆来校者の多い時間帯や児童の登下校では、機器の活用だけでなく安全監視委員などを配置し、人の目による監視を行い、学期毎に安全監視日誌を集め不審者等がないかを確認する等により、令和5年度9月30日時点で児童在校中の小学校への不審者侵入件数が0件である等、子どもの安全を確保する環境を維持している。</p> <p>◇安全監視員について、地域の方々の協力により成り立っているが、現状、担い手不足の問題がある。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> 事件等がなければ、達成度はずっと100%になる。例えば予定通りカメラの修繕を行えたかどうかなどを指標とすればいいのではないか。（R4点検評価員会議） 						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

7-④	生徒指導充実事業（枚方市 生徒指導体制充実事業）	担当課	教職員課 児童生徒支援課	事業費（千円） ※人件費のみ	予算額	63,405
					決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。 生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。 各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） 中学校全体の暴力行為の発生件数 （参考指標1）※（参1）と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数		実績値 [A] (件) 82 (参1) 93	36 (参1) 93	41 ※1学期末時点 (参1) 35		
（目標値の根拠） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少 （参考指標1） 暴力行為発生件数が前年度より10%減少		目標値 [B] (件) 36 (参1) 76	74 (参1) 84	32 (参1) 93		
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	0.00 (参1) 0.00	151.35 (参1) 89.29	71.88 (参1) 162.37	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和5年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、4校には非常勤講師を1人ずつ配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。</p> <p>◇1学期末時点で、実績値が目標値を超えたため、令和5年度においては未達成となる。原因については、各学校が暴力行為のレベルを落とし、丁寧に対応している結果であると考えられる。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な学校行事がコロナ禍以前同等に戻る中、児童生徒間の接触や交流が活発になったことで、本来体験できていた経験等の不足により、うまくコミュニケーションが取れずに暴力行為へ発展してしまうケースもみられる。今後については、繰り返しの暴力を防ぐことはもちろん、そもそも暴力行為に至ることのないよう、日頃から生徒の自己肯定感を高める発達支持的生徒指導を推進していく必要がある。</p> <p>加配講師（任期付講師）配置校 令和5年度 第一中、第四中、津田中、中宮中、山田中、桜丘中、蹉跎中 ※（非常勤講師）第二中、枚方中、楠葉中、楠葉西中</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導充実事業については、中学校での暴力行為の増加は問題と考える。コロナ禍での生徒のストレス増加も原因の一つかも知れないが、詳細な分析と対策が必要である。また、近年の傾向から、小学校での暴力行為についても、今後、注視していくべきである。（R4点検評価員会議） 小学校の暴力件数が年々増加し、中学校の暴力件数を超える状況である。今後も子どもたちの様子を見守りながら、対応方法の分析をお願いしたい。（R5点検評価員会議） 						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の 達成度の推移	
	関連計画	-				

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	970
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市の関係部課と大阪府子ども家庭センターや警察等外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を開催する。 ・枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。 ・「ストップ!いじめ」全小中学校の新生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付する。 ・児童生徒支援課にいじめ対策グループを設置(弁護士、スクールソーシャルワーカーも配置)し、人権政策室に設置されたいじめ対策グループと連携して学校のいじめ対策の強化を図る。また、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、事後の迅速かつ適切な対応が行えるよう、教育委員会の体制強化とともに、いじめ重大事態が発生した場合の調査に係る体制について整備する。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率(解消件数/認知件数) 【】内は、令和5年6月末時点の解消率	実績値 [A] (%)	小 98.78(1,294/1,310) 【98.78(1,294/1,310)】 中 95.74(292/305) 【95.74(292/305)】	小 99.08(2,699/2,724) 中 94.29(463/491)	小 2.68(36/1,342) 中 6.14(26/423) ※1学期末時点		
(目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。	目標値 [B] (%)	100.00	100.00	100.00		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	小 98.78 中 95.74	小 99.08 中 94.29	小 2.68 中 6.14 ※1学期末時点		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会は、1回目は9月4日に開催し、2回目は2月に開催予定である。 ◆「枚方市学校いじめ対策審議会」は、5月、6月、7月、8月、9月に開催した。次回は12月に開催予定である。 ◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ!いじめ」を貸与しているタブレット端末に配信した。 ◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。 ◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んでいる。 ◆生起したいじめ事案については、認知件数及びいじめの態様等の報告を毎月行うことを検討している。 ◇いじめ案件が年度を超えて発覚することもある。普段から学校に向けて、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けての取り組みを促していく必要がある。 						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度においては、目標値である100%に近い解消率を示しており、また、事務局によると、年度末時点では、前年度比で約10%解消率が高くなったとのことである。いじめは起こらないことが第一であるが、残念ながら発生した場合には、引き続き早期解決に努めていただきたい。(R4点検評価員会議) 						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

7-⑦	教育相談事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額 決算額	9,655
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>●子どもの笑顔を守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン) 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>●継続教育相談 幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>●メンタルヘルス相談 教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 水の午前、午後)</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数)	実績値[A] (件)	2,268	2,009	995		
(目標値の根拠) 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績	目標値[B] (件)	1,865	2,268	2,009		
(目指すべき方向) 	達成度[C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [◇] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	121.61	88.58	49.52		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆児童生徒支援課からの周知に加えて教職員課からの校長会等での周知もあり、10件の教職員のメンタルヘルスにかかる相談を受けている。</p> <p>◇教職員のメンタルヘルス相談件数の増加に伴い、相対的に保護者等の相談を受け付けにくい状況も出てきている。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度~平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒支援課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 14,109 決算額
事業概要(令和5年度の取り組み内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。 枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。 月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。 1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。 <p>●適応指導教室入室児童・生徒 学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問指導：学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。 馬とのふれあい体験：馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。 					
指標		R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 年間90日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合 【計算式】 学校内外の施設につながっていない不登校児童・生徒数(年間90日以上)÷年間90日以上の不登校児童・生徒数		実績値 [A] (%) 中 57.39 【233/406】 小 50.63 【81/160】	中 55.16 【246/446】 小 44.38 【71/160】	1学期時点では年間授業日数が90日に満たないため算出不可	
(目標値の根拠) 年間90日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数を、次の割合で毎年減少させる。【中】19人(各校で1人ずつ)、【小】15人(15校で(44校の1/3)1人ずつ)		目標値 [B] (%) 中 53.77 【171/318】 小 37.37 【37/99】	中 52.70 【214/406】 小 41.25 【66/160】	中 50.90 小 35.00	
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ [△] なら C=A÷B ※ [▽] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	中 96.38 小 86.74	中 97.54 小 96.87	1学期時点では年間授業日数が90日に満たないため算出不可
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)					
<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市内に新たにできたフリースクールを訪問し(6月15日)、加筆修正した不登校支援ガイドに追記した(令和5年8月)。 ◆不登校支援協力員連絡会を実施し、校内適応指導教室について情報共有の機会を持った(7月18日)。 ◆適応指導教室「ルポ」において、MinecraftEducationを使った自宅からも参加できるオンライン支援を7月から実施している。 ◆9月には、不登校支援ガイドを周知し、学校内外での支援について発信した。 ◆9月から、適応指導教室「ルポ」において、民間施設を活用したeスポーツに触れる体験を実施している(社会とのつながりを意識)。 ◆9月から、公民連携プラットフォームを活用し、学校の空き教室や公共施設を使った居場所づくりについて取組みを進めている。 ◆10月から、枚方市の児童生徒が通っている他市のフリースクールへの訪問を実施中。 ◆ブログ、Googleclassroomを活用し、適応指導教室「ルポ」の活動を積極的に発信している。 ◇適応指導教室「ルポ」の登録者は9月末で60名となっており、令和4年度の年間の登録人数を(51名)上回っている					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度においては、大阪府下では不登校児童数は前年度から横ばいであるが、枚方市は増加傾向にあり課題と考える。原因分析を行ったうえで、例えば地域の力を活用して、問題解決につなげる実践などを研究していただきたい。(R4点検評価員会議) 枚方市における不登校の児童・生徒の数は、年々増加している。児童・生徒が安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、不登校になってしまった児童・生徒が社会に取り残されることがないように、地域や関係機関との連携も含め、児童・生徒が常にどこかにつながっている状況をつくっていただきたい。(R5点検評価員会議) 					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移
	関連計画	-			

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます^①。

空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます^②。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。


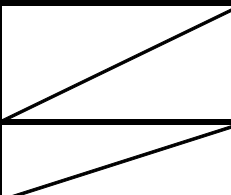
また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します^④。


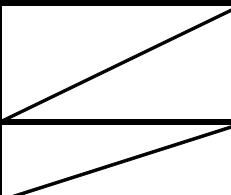
また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。


さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑦。

主要事業の状況

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設計画課・建築課 設備課・施設管理課	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 4,468,441 (内R4から繰越3,785,692)	決算額
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> ・「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合かつ計画的な整備や保全を行う。 ・学校トイレをドライ化し洋式トイレに改修するとともにバリアフリートイレを整備する。 ・エレベーターについて、本年3月に策定した「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づき、3校の実施設計と1校の工事を進める。 ・直営作業による小中学校のグラウンド改修を行う。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所（系列）数	実績値 [A] (件)	32	31	4		
(目標値の根拠) 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所（系列）数	目標値 [B] (件)	32	31	35		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※◇ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	100.00	100.00	11.43		
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市学校整備計画」に基づいた設備の保全工事27件の内、3件の工事が完了しており、残り24件については現在実施中である。 ◆「枚方市学校整備計画」に基づいた建築の保全工事14件の内、2件の工事が完了しており、残り12件については現在実施中である。また、学校トイレの保全工事35件の内、4件の工事が完了しており、残り31件については現在実施中である。 ◆「学校施設のエレベーター設置等に関する方針」に基づいた実施設計3校と工事1校について、現在実施中である。 ◆直営作業によるグラウンド改修を小学校2校、中学校1校で実施した。 						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・学校トイレのドライ化と洋式化、及び多目的バリアフリートイレの整備を計画的に推進している。（R4点検評価員会議）						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化				
	実行計画	第2期実行計画（令和2年度～令和5年度）			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画				

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設計画課 設備課	事業費（千円） ※人件費を含む	予算額	4,468,441 (内R4から繰越3,785,692)
					決算額	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の教室等の空調設備の更新及び点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 小中学校体育館62棟への空調設備を整備する。また、整備後の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
（実績値の内容） 空調設備の維持管理室数に対するの実施室数		実績値 [A] (室)	2,521	2,495	2,504	
（目標値の根拠） 小中学校における空調設備の維持管理室数		目標値 [B] (室)	2,521	2,495	2,504	
（目指すべき方向） 		達成度 [C] (%) <small>※[△]ならC=A÷B <small>※[◇]ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)</small> </small>	100.00	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<ul style="list-style-type: none"> ◆体育館空調設備整備については、9月30日時点で事業者選定を終え、仮契約を締結した。 ◆維持管理については、フロン法に基づくフロン点検を、年間4回実施予定のうち2回実施。フィルター清掃を年間2回実施予定のうち1回実施。保守点検を年間1回実施予定のうち1回実施している。 						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
<ul style="list-style-type: none"> 学校体育館を含めた空調整備が計画的に進められている。ともに、時代の変化に沿った先進的な取り組みであると評価できる。(R4点検評価員会議) 						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化				
	実行計画	第2期実行計画（令和2年度～令和5年度）			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画				

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進室	事業費（千円） ※人件費は除く	予算額 4,468,441 (内R4から繰越3,785,692)	
事業概要（令和5年度の取り組み内容）						
<p>「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」に基づき、小規模校及び大規模校並びに過密校について、学校統合や通学区の変更、増築等により、学校規模等の適正化に向けた取り組みを進める。また、「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」については、平成29年度の策定から5年以上が経過し、社会情勢や子どもを取り巻く環境も変化したことから、同方針の改定に向け、「枚方市学校規模等適正化審議会（第五次）」を設置し、検討を行う。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校	実績値 [A] (校)		0	1	1	
(目標値の根拠) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校	目標値 [B] (校)		0	1	1	
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=[B+(B-A)] \div B$ (小数第三位を四捨五入)		-	100.00	100.00	
令和5年度の取り組み実績（◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項）						
<p>◆大規模校・過密校対策として、菅原東小学校に仮設校舎6教室を令和4年度に増築、令和5年度から供用開始し、教室不足を解消した他、令和6年度から11年度までの期間、樟葉小学校の通学区に在住し、樟葉小学校に入学予定の児童及び在籍児童等を対象に、希望により樟葉北小学校へ指定校を変更することができる制度を設定した。</p> <p>◇「枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）」を策定した平成29年度以降、社会情勢や子どもを取り巻く環境が大きく変化していることが取り組みを進めるうえでの課題である。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第1期実行計画（平成28年度～平成31年度）			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実


社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供される必要があります。


それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^{①②}。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。


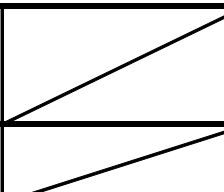
図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす^{③④}^{⑤⑥⑦⑧}ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます^⑨。


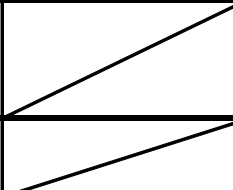
読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化^⑩や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します^⑩。

主要事業の状況

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 6,225 決算額
事業概要(令和5年度の取り組み内容)					
<p>「人生100年時代」を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。</p> <p>社会教育(人権)講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</p>					
指標		R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 社会教育活動推進事業への延べ参加者数		実績値 [A] (人)	2,379	3,375	1,811
(目標値の根拠) 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80%		目標値 [B] (人)	2,670	3,400	4,130
(目指すべき方向) 		達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	89.10	99.26	43.85
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)					
<p>◆社会教育基礎講座として、連続講座「人生100年時代のライフプランと資産運用①」(29人参加)・「人生100年時代のライフプランと資産運用②」(25人参加)、オンライン講座「子育て世代のためのマネープラン～将来のために備えよう～」(32人参加)、家庭教育支援事業として、「親子で楽しもう!LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～」(8組17人参加)、社会教育人権講座として、「人形劇でところをつなごう」(23組51人参加)を開催した。また、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」は、延べ1,127人の学習者が参加した。</p> <p>◇市民にニーズのある事業のテーマ設定や、開催日時の設定、周知方法について課題があるため、これまでの講座アンケート結果や、社会教育委員会からのご意見も参照しながら、目標の達成に向け改善を図る。</p>					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
<p>・市民のニーズを踏まえた講座を実施されており、参加者数が増加していることは評価できる。今後は、より多くの市民が講座に参加できるよう、オンライン講座の開催についても検討いただきたい。(R5点検評価員会議)</p>					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度
	市長公約	-			
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移
	関連計画	-			

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	80,000
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
基本的な蔵書構成を維持しながら市民の多様なニーズに応えるため、雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くバランスを意識し、あらゆる分野にわたり、正確で新しい情報を提供できるよう計画的に資料を購入する。また、貸出頻度の高い児童書のロングセラーや、情報が古く更新が必要な図書の買い替えを積極的に進め、蔵書のリフレッシュを昨年度に引き続き行う。						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 開架資料の新鮮度 ※開架資料に占める購入資料の割合	実績値 [A] (%)	3.74	3.57	2.14		
(目標値の根拠) 前年度実績	目標値 [B] (%)	3.69	3.74	3.57		
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [◇] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	101.36	95.45	59.94		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◆選書に際しては、蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した。また、利用が多く劣化した本や情報の古い分野の蔵書の一部を更新した。 ◆図書館の蔵書となる図書を児童書7,723冊、一般書12,974冊、合計20,697冊購入した。						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	-			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	1,299
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸し出し、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。</p> <p>・「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)に基づき、視覚障害者等に対して、拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、ディスプレイヤー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、支援を行うとともに、様々な読書手段を紹介する。</p> <p>・読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。</p>						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 点字・録音図書貸出タイトル数	実績値[A] (タイトル)	3,157	2,889	1,404		
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均	目標値[B] (タイトル)	3,606	3,167	2,483		
(目指すべき方向) 	達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	87.55	91.22	56.54		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆視覚障害者サービスとして、対面読書を54回実施した。</p> <p>◆聴覚障害者サービスとして、手話でたのしみおはなし会を6回実施(延べ56人参加)、手話ブックトークを1回実施(20人参加)した。</p> <p>◆音訳協力者に対しては外部講師を招いての音訳講習を3回実施(延べ55人参加)した。(全5回実施予定)</p> <p>◆これまで利用してきた利用者の高齢化や死亡により、利用を休止することが増え、点字・録音図書の貸出は減少傾向にある。このため読書相談や資料案内などを通じて読書要求の拡大に務めた。また、加齢に伴い通常の活字による読書が困難になった高齢者が貸出に占める割合は、新規登録を含めて増える傾向にあり、これらの状況をふまえて引き続きサービスの周知に務める。</p> <p>◇諸サービスについて、利用者の拡大と、録音資料の製作や対面読書を担う音訳協力者の養成が課題である。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	31,056
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月より「ひらかた電子図書館」を導入したが、電子書籍(コンテンツ)の充実が課題であり、交付金を活用するなどし、電子図書館の蔵書の増加を図る。						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数(回)		実績値[A] (冊)	①17,860 ②38,869	①31,823 ②79,547	①20,355 ②50,757	
(目標値の根拠) 【R3年度】新規事業のため、所蔵冊数すべてを少なくとも1回は貸し出す、または閲覧するものとして設定 【R4年度】R3年度の実績(7月導入のため9か月分)を12か月分で換算した実績 【R5年度】直近2か年の平均値(R3を12か月換算)		目標値[B] (冊)	①6,500 ②6,500	①23,813 ②51,825	①27,818 ②65,686	
(目指すべき方向) 		達成度[C] (%) ※ ^① ならC=A÷B ※ ^② ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)	①274.77 ②597.98	①133.64 ②153.49	①73.17 ②77.27	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
◇電子図書館の蔵書冊数が少ない点と電子図書館の認知度を高める点が課題である。 ◆デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、一般書を2,268冊、児童書を602冊購入した。今年度後期には約3,800冊購入予定。 ◆子どもに本を届ける基金を活用し、同時に複数人がひとつのタイトルに閲覧できる読み放題パックを440タイトル購入した。 ◆電子図書館利用統計 ログイン数:24,032回 閲覧回数:50,757回 貸出冊数:20,355冊 予約件数:3,271件						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
・電子書籍貸出冊数が、さまざまな工夫により、目標値と比べて実績値がかなり大きくなったことは評価できる。更なる貸出冊数の増加に向けた取組みを進めていただきたい。(R4点検評価員会議)						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

※指標が複数ある場合、点検評価に係る達成度は、上記の達成度の平均値を用いる。

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	10,359
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<p>・学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、教育指導課の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援及び学校図書館システムの管理・技術的支援を行うとともに、学校図書館の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援を行う。</p> <p>・児童生徒の読書習慣の確立や情報活用力の育成をめざし、市立小中学校に配置する学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図る。</p>						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数	実績値 [A] (冊)		23.72	22.02	10.60	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績の平均 ※R1年度のみ、図書館システム更新に伴い、H28年度実績が算出不能のため、直近2年間の実績値の平均を用いる	目標値 [B] (冊)		21.59	22.34	22.68	
(目指すべき方向) 	達成度 [C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入)		109.87	98.57	46.73	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<p>◆令和5年度、全19中学校及び小学校20校の学校司書25人(うち小中2校兼務8人、小学校2校兼務6人)と連携しながら、学校図書館整備の支援や学校図書館システムの管理・技術的支援、授業で活用するための資料提供等を行っている。</p> <p>◆学校図書館における児童一人当たりの貸出冊数は9月30日時点で比較すると、R3が10.25冊、R4が9.93冊で、R5は微増している。</p> <p>◆市立小学1年生をはじめ令和5年度新規の児童生徒一人一台タブレット端末用アカウントを、ひらかた電子図書館に登録した。7月より、学校での利用に適した、利用者数に制限なく同時にアクセスできる「児童書読み放題パック」を440点追加した(利用可能合計640点)。7月～9月、児童生徒の電子書籍閲覧数は21,733点で、昨年度の同時期と比較して1.57倍増だった。</p>						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	第2期実行計画(令和2年度～令和5年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します^{①②}。

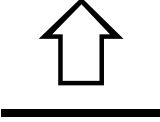
生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます^{①③}。

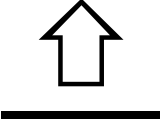
また、文化財等の適切な保存を進める^{④⑤}とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^{⑥⑦}とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む^{⑧⑨}とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑨。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます^{⑩⑪⑫}。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します^⑪。

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額 決算額	33,015
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。 ・市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施する。 ・文化芸術アドバイザーや連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。 ・市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催する。 						
指標		R3年度	R4年度	R5年度		
(実績値の内容) 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 【R3年度】「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数 【R4年度】（「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数/アンケート回答者数）×1割	実績値[A] (%)	73.13 (2,251/3,078)	95.21 (936/983)	年度末に集計予定		
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%	目標値[B] (%)	75.00	75.00	75.00		
(目指すべき方向) 	達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	97.51	126.95	年度末に集計予定		
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市文化芸術振興審議会を1回開催し、枚方市文化芸術振興計画の改訂について審議を行っている。 ◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施している。 ◆連携協定を締結した大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業を行っている。 ◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を8月～9月にかけて開催した。 						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費(千円) ※人件費は除く	予算額	43,896
					決算額	
事業概要(令和5年度の取り組み内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。 						
指標			R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 各種大会等参加者数		実績値[A] (人)	11,118	15,464	1,642	
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均の どちらか多い数		目標値[B] (人)	24,918	24,918	24,918	
(目指すべき方向) 		達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [□] ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	44.61	62.06	6.59	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)						
<ul style="list-style-type: none"> ◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を、公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し実施している。 ◆市内高校バレーボール大会を4月29日に実施した(参加者388人) ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、6月18日に実施した(参加者1,254人) 						
これまでの点検評価員等からの主な意見						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度	
	市長公約	-				
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の 達成度の推移	
	関連計画	-				

10-⑩	総合型放課後事業	担当課	放課後子ども課	事業費(千円) ※人件費を含む	予算額 930,355 決算額
事業概要(令和5年度の取り組み内容)					
子どもたちの「時間」「空間」「仲間」のいわゆる3間を充実させ、すべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様で自主的な活動に参加できる環境として「放課後オープンスクエア」を令和5年4月より全校(44校)で実施し、「留守家庭児童会室」と一体的な運営を核とし、「枚方子どもいきいき広場」と連携・協働しながら、「総合型放課後事業」として民間活力を活用しながら安定的な運営に取り組む。					
指標		R3年度	R4年度	R5年度	
(実績値の内容) 全児童に対する放課後の児童の居場所(放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童)の割合	実績値[A] (%)	-	-	18.53	
(目標値の根拠) 児童たちの放課後の居場所として利用することができる	目標値[B] (%)	-	-	20.00	
(目指すべき方向) 	達成度[C] (%) ※ [△] ならC=A÷B ※ [▽] ならC=(B+(B-A))÷B (小数第三位を四捨五入)	-	-	92.65	
令和5年度の取り組み実績(◆…事業の取り組み実績 ◇…事業の課題事項)					
<p>◆令和5年度より市立全小学校で放課後オープンスクエアを実施し、「総合型放課後事業」として、留守家庭児童会室と一体的な取り組みを進めている。令和5年4月1日現在の各留守家庭児童会室の定員に対する入室状況は、6名の待機児童が発生していたが、9月末現在では待機児童は解消されている状況である。</p> <p>◆令和5年度から市立全小学校で実施している放課後オープンスクエアの登録児童数は9月時点で7,425人であり、全児童19,951人に対する登録率は37.2%と全体の4割近い状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後オープンスクエア参加人数(1日平均) 973.9人 留守家庭児童会室入室児童数(9月末現在) 3,874人 留守家・放課後OS併用利用児童数(9月現在) 1,150人 全児童数(4月1日現在) 19,951人 					
これまでの点検評価員等からの主な意見					
<p>・これまで期限内に入室申込みのあった全ての児童を受入れるという方針のもと、臨時定員等を設けて受け入れられてきたことであるが、今後も放課後オープンスクエアの拡充、職員体制や施設の整備、余裕教室の確保などを通じて、通年で待機児童0を目指して取り組んでいただきたい。(R5点検評価員会議)</p>					
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2・3年度市政運営方針			
	実行計画	第1期実行計画(平成28年度～平成31年度)			R4からR5の達成度の推移
	関連計画	-			